



# 学力UP便り



## コンパス、分度器…は、こんなものを！



小学校の算数では、2年生で竹ものさし、3年生になるとコンパスや三角定規、さらに4年生では分度器の使い方を学習します。このうちコンパスや三角定規、分度器には、いろいろな種類やデザインの商品が売られていますが、ときどき授業中にうまく使えずに困っている子がいます。そして実は、使い方の問題ではなく、道具に問題がある場合も少なくありません。

特に3年生は、まもなく「円と球」の学習が始まり、ここで初めてコンパスの使い方を学習します。円を描くこと（実は、子どもたちにとって円を描くことは簡単ではなく、たくさんの練習が必要になります）に苦手意識をもってしまわないよう、適切な道具を持たせたいものです。ご家庭の皆さま方のご協力、よろしくお願いいたします。

帯広小学校では、次のようなタイプのものお勧めしています。新しく購入される場合は、ぜひ参考にしてください。

コンパス・・・描く部分が鉛筆タイプのものが、使いやすいです。

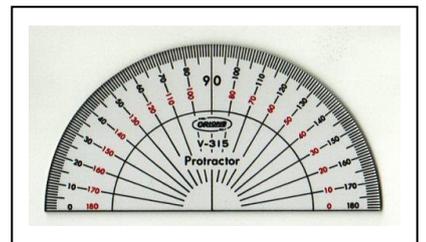
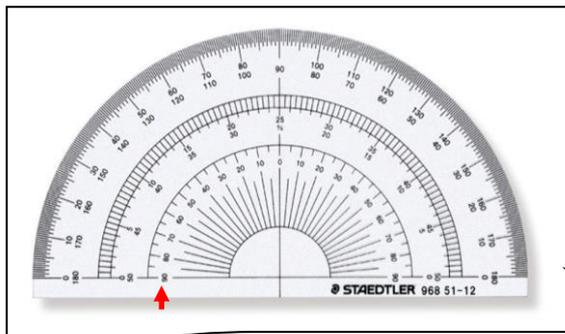
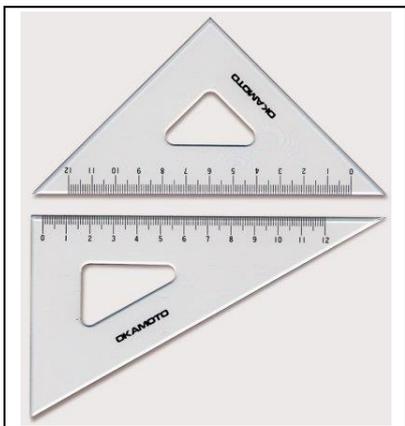
描く部分が「芯タイプ」のものありますが、芯を尖らすのが難しいようです。もし、これから購入される場合は、鉛筆タイプ（特に左側のような、持ち手が大きくしっかりしたものや、右側のようなキャップのついたもの～「くるんパス」というようです～）のものをお勧めしたいです。

右利きの子は「4時」の方向（左利きの子は8時）から円を描き始めます。



三角定規・・・絵や色のついていない、透明でシンプルなもの（線などが、透けて見えます）。

分度器・・・「袴」のついたもの。直径9cmのものが、教科書の説明とぴったり合い、お勧めです。



赤い矢印をつけた部分が「袴」です。最近はこの図のように、袴のないものもありますが、教科書では、袴のあるタイプで使い方を説明しています。